

表 79 性別による主介護者の続柄 (Q2)

介護者男性の場合	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者(夫)	119	58.0	32	42.1	151	53.7	n.s.
子ども(息子)	79	38.5	42	55.3	121	43.1	
子の配偶者(婿)	2	1.0			2	0.7	
その他(兄弟等)	5	2.5	2	2.6	7	2.5	
計	205	100.0	76	100.0	281	100.0	

  

介護者女性の場合	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
配偶者(妻)	182	40.4	117	38.4	299	39.6	P<.001
子ども(娘)	154	34.2	56	18.4	210	27.8	
子の配偶者(嫁)	98	21.8	117	38.4	215	28.5	
その他(姉妹等)	16	3.6	15	4.9	31	4.2	
計	450	100.0	305	100.0	755	100.0	

介護者が男性の場合、葛飾では夫（配偶者）が妻を介護している割合が58.0%と非常に高かった。また、息子（子ども）が介護している割合は大館・田代の方が55.3%で葛飾の38.5%に比べて高かった。

介護者が女性の場合には、葛飾では妻（配偶者）が介護している割合が最も高く40.4%であるのに対して、大館・田代では妻（配偶者）と嫁（子の配偶者）の割合が38.4%と同率であった。また、嫁（子の配偶者）の比較では葛飾の21.8%に比べて大館・田代が38.4%と高く、また、娘（子ども）の比較では大館・田代が18.4%なのに対して葛飾が34.2%と高かった。有意差も見られることから、葛飾では妻と娘、大館・田代では妻と嫁が主介護者となっている割合の高いことが大きな違いといえる。

### Q39 主介護者の性別

表 80 主介護者の性別 (Q3)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
男性	205	31.3	76	19.9	281	27.1	P<.001
女性	450	68.7	305	80.1	755	72.9	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

主介護者の性別についてたずねた。

全体では女性が72.9%で圧倒的に多かった。地域別では、男性が葛飾で31.3%、大館・田代で19.9%と葛飾の方が高く、女性では大館・田代が80.1%で葛飾の68.7%に対して高い割合を示していた。葛飾では男女比が7:3、大館・田代では2:8となっている。

## Q40 主介護者の年齢

表 81 主介護者年齢の平均 (Q4)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均年齢	63.75 歳	11.89	63.24 歳	11.25	63.57 歳	11.66	n.s.
男性	67.33 歳	12.73	67.38 歳	11.57	67.35 歳	12.41	
女性	62.12 歳	11.12	62.21 歳	10.95	62.16 歳	11.05	

主介護者の平均年齢では葛飾が 63.75 歳、大館・田代が 63.24 歳であった。性別では男性が女性に比べて 5 歳程度高かったものの、特に地域差は見られなかった。

## Q41 要介護者の性別

表 82 要介護者の性別 (Q5)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
男性	242	36.9	145	38.1	387	37.4	n.s.
女性	413	63.1	236	61.9	649	62.6	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

介護の対象となる要介護者の性別をたずねた。

女性が要介護者であるのは葛飾、大館・田代ともに 6 割以上を占めていた。要介護者の性別では地域差は見られなかった。

## Q42 要介護者の年齢

表 83 要介護者年齢の平均 (Q6)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均年齢	80.30 歳	8.29	81.11 歳	7.70	80.60 歳	8.08	n.s.
男性	77.52 歳	7.68	77.52 歳	7.68	77.52 歳	7.68	
女性	81.93 歳	8.20	83.32 歳	6.85	82.43 歳	7.76	

要介護者全体の平均年齢では、葛飾が 80.30 歳、大館・田代が 81.11 歳で、大館・田代の方が若干高かったものの有意な差は見られなかった。男女別では女性の平均年齢が、大館・田代で 83.32 歳で葛飾の女性に比べて 2 歳高く、男性との差も 6 歳と大きかった。

## Q43 要介護者との同・別居

表 84 要介護者との同・別居 (Q7)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
同居	590	90.1	359	94.2	949	91.6	P<.05
別居	65	9.9	22	5.8	87	8.4	
計	655	100	381	100.0	1036	100.0	

  

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
男性介護者の同居率	193	94.1	74	97.4	267	95.0	n.s.
別居率	12	5.9	2	2.6	14	5.0	
女性介護者の同居率	397	88.2	285	93.4	682	90.3	P<.05
別居率	53	11.8	20	6.6	73	9.7	

要介護者との同居・別居についてたずねた。

要介護者と同居している割合は全体で91.6%と高く、9割以上が同居介護であることがいえる。中でも大館・田代の同居割合は94.2%と高かった。

介護者の性別で同・別居の割合を見ると、葛飾の女性介護者で11.8%が別居介護をしていることがわかった。

## 介護開始以前からの同居

表 85 介護開始以前からの同居の有無(Q7-SQ1)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	539	91.8	325	95.0	864	93.0	P<.05
いいえ	48	8.2	17	5.0	65	7.0	
計	587	100.0	342	100.0	929	100.0	

同居している介護者に対して、「介護が開始される以前から同居していたかどうか」をたずねたところ、葛飾では91.8%、大館・田代では95.0%が介護以前から同居していると回答した。

## 介護のための呼び寄せ

表 86 介護のための呼び寄せ (Q7-SQ2)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
介護のために呼び寄せた	27	56.3	9	52.9	36	55.4	n.s.
自分が転居した	14	29.2	6	35.3	20	30.8	
その他	7	14.6	2	11.8	9	13.8	
計	48	100.0	17	100.0	65	100.0	

介護以前は別居していた介護者に対して、別居から同居への移行方法についてたずねた。

「介護のために呼び寄せた」が葛飾 56.3%，大館・田代 52.9%で半数以上を占めていた。別居から同居に移行した場合には、ほぼ半数が要介護者を介護者宅に呼び寄せる方法を選択していることがわかった。

「自分が転居した」では、葛飾の 29.2%に比べて大館・田代が 35.3%と高かった。

## 介護者の家までの距離

表 87 介護者の家までの距離 (Q7-SQ3)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
5分未満	26	40.0	8	36.4	34	39.1	n.s.
5～15分未満	11	16.9	6	27.3	17	19.5	
15～30分未満	12	18.5	4	18.2	16	18.4	
30～60分未満	8	12.3	2	9.1	10	11.5	
60分以上	8	12.3	2	9.1	10	11.5	
計	65	100.0	22	100.0	87	100.0	

「別居」と答えた主介護者に、要介護者宅から介護者宅までの移動時間をたずねたところ、全体では5分未満のところに住んでいる割合が 39.1%と最も高かった。地域比較では、葛飾で30分以上の割合が 24.6%で大館・田代の 18.2%に比べて高く、一方、大館・田代では30分未満の割合が 81.9%と全体の8割以上を占めていたが、葛飾では 75.4%であったことから、大館・田代では、葛飾に比べて比較的近距离の状態では別居介護していることがわかる。

## Q44 家族

### 1) 要介護者との同居人数

表 88 要介護者との同居人数 (Q8-1)

同居人数	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	3.03 人	1.50	3.49 人	1.65	3.20 人	1.57	P<.001

  

同居人数の分布	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
1 人	50	7.6	18	4.7	68	6.6	
2 人	269	41.1	110	28.9	379	36.6	
3~4 人	226	34.5	166	43.6	392	37.8	
5~8 人	108	16.4	85	22.3	193	18.6	
9 人以上	2	0.3	2	0.5	4	0.4	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

要介護者と同居していると答えた方に対して、同居人数をたずねた。

平均では、全体で 3.20 人で、葛飾が 3.03 人、大館・田代が 3.49 人と大館・田代での同居人数が多かった。

また人数別では、葛飾で 2 人暮らしが 41.1%と最も高かったのに対して、大館・田代では 3~4 人の拡大家族が 43.6%と最も高かった。

## 家族構成

表 89 家族構成 (Q8-2)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
一人暮らし	50	7.6	18	4.7	68	6.6	P<.001
夫婦のみ	202	30.8	80	21.0	282	27.2	
既婚子同居	215	32.8	197	51.7	412	39.8	
未婚子同居	162	24.7	64	16.8	226	21.8	
その他	26	4.0	22	5.8	48	4.6	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

家族構成では、葛飾、大館・田代ともに既婚子同居（息子又は娘家族との同居）が最も多く、ついで夫婦のみ世帯であった。しかし分布を見ると、大館・田代では既婚子同居（息子又は娘家族との同居）が半数以上の 51.7%であるのに対して葛飾では 32.8%であった。反対に葛飾では夫婦のみ世帯が 30.8%であるのに対して大館・田代では 21.0%と低い割合であった。同居人数と家族構成から、葛飾では夫婦のみ世帯での 2 人暮らしが多く、大館・田代では既婚子同居（息子又は娘家族との同居）による 3~4 人家族の多いことがわかる。

## Q45 婚姻状態

表 90 婚姻状態 (Q9)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
結婚している	544	83.4	323	86.1	867	84.4	n.s.
結婚していたが死別	22	3.4	17	4.5	39	3.8	
別居	5	0.8	2	0.5	7	0.7	
離婚	20	3.1	13	3.5	33	3.2	
未婚	61	9.4	20	5.3	81	7.9	
計	652	100.0	375	100.0	1027	100.0	

主介護者の婚姻状態についてたずねた。

葛飾、大館・田代ともに8割以上が既婚であり地域間の差は見られなかった。ただし、大館・田代で「死別」の割合が4.5%と葛飾の3.4に比べて高く、また「未婚」の割合では、葛飾が9.4%であるのに対して大館・田代では5.3%と低かった。

## Q46 子どもの人数 (同居・別居)

表 91 同居子の人数 (Q10)

同居子人数の分布

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
0人	372	56.9	208	55.0	580	56.2	P<.001
1人	177	27.1	147	38.9	324	31.4	
2人	89	13.6	19	5.0	108	10.5	
3人	14	2.1	3	0.8	17	1.6	
4人	2	0.3	1	0.3	3	0.3	
計	654	100.0	378	100.0	1032	100.0	

表 92 別居子の人数 (Q10)

別居子人数の分布

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
0人	227	35.2	70	18.6	297	29.1	P<.001
1人	165	25.6	126	33.4	291	28.5	
2人	179	27.8	131	34.7	310	30.4	
3人	56	8.7	38	10.1	94	9.2	
4人	14	2.2	9	2.4	23	2.3	
5人	2	0.3	2	0.5	4	0.4	
6人	1	0.2	1	0.3	2	0.2	
計	644	100.0	377	100.0	1021	100.0	

同居子の人数は、全体の56.2%が0人であった。1人では葛飾が27.1%、大館・田代が38.9%で大館・田代が10ポイント程高かった。

別居子の人数では、葛飾が0人が35.2%と最も高かったのに対して、大館・田代では1人33.4%、2人34.7%と別居子の人数が葛飾に比べて多かった。

## Q47 健康度自己評価

表 93 健康度自己評価 (Q11)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
非常に健康	122	18.7	52	13.6	174	16.8	P<.05
まあ健康(普通)	337	51.6	192	50.4	529	51.2	
あまり健康でない	157	24.0	100	26.2	257	24.9	
健康でない	37	5.7	37	9.7	74	7.2	
計	653	100.0	381	100.0	1034	100.0	

主介護者自身の健康について自己評価してもらったところ、「まあ健康(普通)」との回答が最も多く、全体の半数以上51.2%を占めていた。「非常に健康」との回答が葛飾では18.7%で大館・田代の13.6%に比べて高く、また反対に「あまり健康でない」「健康でない」との回答の合計が葛飾では29.7%であったのに対して大館・田代では35.9%と高い割合であった。このことから葛飾よりも大館・田代の主介護者が健康について低い評価であることがわかった。

## Q48 抑うつ尺度 (CES-D)

### 2) 抑うつ尺度項目

表 94 抑うつ尺度項目 (Q12)

(1)食欲がなかった	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	74	11.3	43	11.3	117	11.3	n.s.
時々あった	77	11.8	40	10.5	117	11.3	
ほとんどなかった	504	76.9	298	78.2	802	77.4	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

  

(2)ゆううつだった	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	77	11.8	30	7.9	107	10.3	P<.05
時々あった	197	30.1	95	25.0	292	28.2	
ほとんどなかった	381	58.2	255	67.1	636	61.4	
計	655	100.0	380	100.0	1035	100.0	

(3)おっくうだった	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	73	11.1	29	7.6	102	9.9	P<.05
時々あった	199	30.4	94	24.7	293	28.3	
ほとんどなかった	383	58.5	257	67.6	640	61.8	
計	655	100.0	380	100.0	1035	100.0	

(4)よく眠れなかった	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	97	14.8	49	12.9	146	14.1	n.s.
時々あった	153	23.4	82	21.6	235	22.7	
ほとんどなかった	404	61.8	249	65.5	653	63.2	
計	654	100.0	380	100.0	1034	100.0	

(5)うれしいと感じた	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	84	12.9	47	12.4	131	12.7	n.s.
時々あった	299	45.8	160	42.1	459	44.4	
ほとんどなかった	270	41.3	173	45.5	443	42.9	
計	653	100.0	380	100.0	1033	100.0	

(6)さびしい気がした	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	48	7.3	24	6.3	72	7.0	n.s.
時々あった	145	22.1	77	20.3	222	21.5	
ほとんどなかった	462	70.5	278	73.4	740	71.6	
計	655	100.0	379	100.0	1034	100.0	

(7)よそよそしいと感じた	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	10	1.5	2	0.5	12	1.2	P<.05
時々あった	27	4.1	29	7.6	56	5.4	
ほとんどなかった	616	94.3	349	91.8	965	93.4	
計	653	100.0	380	100.0	1033	100.0	

(8)楽しいと感じた	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	127	19.4	63	16.7	190	18.4	n.s.
時々あった	285	43.5	161	42.7	446	43.2	
ほとんどなかった	243	37.1	153	40.6	396	38.4	
計	655	100.0	377	100.0	1032	100.0	



(9) 悲しいと感じた	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	28	4.3	22	5.8	50	4.8	P<.05
時々あった	158	24.1	65	17.2	223	21.6	
ほとんどなかった	469	71.6	291	77.0	760	73.6	
計	655	100.0	378	100.0	1033	100.0	

(10) 嫌われている感じがした	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	4	0.6	1	0.3	5	0.5	n.s.
時々あった	27	4.1	19	5.0	46	4.4	
ほとんどなかった	622	95.3	361	94.8	983	95.1	
計	653	100.0	381	100.0	1034	100.0	

(11) やる気が起こらない	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
よくあった	31	4.7	21	5.5	52	5.0	n.s.
時々あった	162	24.8	76	19.9	238	23.0	
ほとんどなかった	461	70.5	284	74.5	745	72.0	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

主介護者の抑うつ状態を把握するために、抑うつ尺度（CES-D Center for Epidemiologic Studies - Depression.scale）を用いて検討した。

地域比較では、「ゆううつだった」「何でもないことがおっくうだった」「周囲がよそよそしいと感じた」の3項目で、葛飾で「よくあった」との回答傾向が強く、「悲しいと感じた」では、大館・田代で「よくあった」との回答が高かった。また、「うれしいと感じた」「楽しいと感じた」のポジティブな項目では、葛飾に比べて大館・田代で「ほとんどなかった」の割合が高かった。

## CES-D 平均値

表 95 CES-D 平均値 (Q12)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	5.57	3.69	5.22	3.46	5.44	3.61	n.s.

各項目の「よくあった」に2点、「時々あった」に1点、「ほとんどなかった」に0点（項目5と8は逆スコア）を割り当てて加算した。得点が高いほどうつ傾向が強いといえる。

平均点を比較すると、22点中葛飾が5.57点、大館・田代が5.22点で地域間に差は見られなかった。

Q49 蓄積的疲労徴候 (CFSI)

3) CFSI 項目

表 96 蓄積的疲労徴候項目 (Q13)

(1) 全身がだるい

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	255	38.9	148	38.8	403	38.9	n.s.
ない	400	61.1	233	61.2	633	61.1	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(2) 腰が痛い

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	364	55.7	247	64.8	611	59.0	P<.01
ない	290	44.3	134	35.2	424	41.0	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

(3) 目が疲れる

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	409	62.4	245	64.3	654	63.1	n.s.
ない	246	37.6	136	35.7	382	36.9	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

(4) 肩がこる

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	340	52.0	215	56.4	555	53.6	n.s.
ない	314	48.0	166	43.6	480	46.4	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

(5) 胃腸の調子が悪い

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	190	29.1	106	27.8	296	28.6	n.s.
ない	464	70.9	275	72.2	739	71.4	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

(6) めまいがする

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある							
ない	116	17.7	95	24.9	211	20.4	P<.01
計	539	82.3	286	75.1	825	79.6	
	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

## (7)頭が重い

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある							
ない	178	27.2	113	29.7	291	28.1	n.s.
計	476	72.8	268	70.3	744	71.9	
	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

## (8)かぜをひきやすい

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある							
ない	141	21.6	85	22.4	226	21.9	n.s.
計	513	78.4	295	77.6	808	78.1	
	654	100.0	380	100.0	1034	100.0	

## (9)疲れやすい

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある							
ない	347	53.1	219	57.5	566	54.7	n.s.
計	307	46.9	162	42.5	469	45.3	
	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

## (10)寝つきがよくない

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある							
ない	198	30.3	105	27.6	303	29.3	n.s.
計	455	69.7	276	72.4	731	70.7	
	653	100.0	381	100.0	1034	100.0	

主介護者の蓄積的疲労徴候を把握するために、Cumulative Fatigue Symptoms Index を用いて検討した。

その結果、葛飾、大館・田代ともに「ある」と回答した割合が高かった項目は、「腰が痛い」「目が疲れる」「肩がこる」「疲れやすい」の4項目であった。また、地域差が見られた項目は、「腰が痛い」(葛飾 55.7%, 大館・田代 64.8%), 「めまいがする」(葛飾 17.7%, 大館・田代 24.9%) であった。

## CFSI 平均値

表 97 CFSI 平均値

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	3.89	2.61	4.15	2.78	3.98	2.68	n.s.

「ある」と回答した数を合計し、平均値を求めた。

葛飾では 3.89 点、大館・田代では 4.15 点で、地域間に差は見られなかった。

## Q50 モラル・スケール (PGC)

### 4) モラル・スケール項目

表 98 モラル・スケール項目 (Q14)

#### (1) 人生は年をとるごとに悪くなる

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
そう思う	227	34.9	143	37.7	370	36.0	n.s.
そうは思わない	423	65.1	236	62.3	659	64.0	
計	650	100.0	379	100.0	1029	100.0	

#### (2) 昨年と同じように元気だ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	408	62.3	191	50.1	599	57.8	P<.001
いいえ	247	37.7	190	49.9	437	42.2	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

#### (3) 小さな事を気にするようになった

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	159	24.3	94	24.7	253	24.4	n.s.
いいえ	495	75.7	287	75.3	782	75.6	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

#### (4) 年をとって役に立たなくなった

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
そう思う	188	28.8	151	39.7	339	32.8	P<.001
そうは思わない	464	71.2	229	60.3	693	67.2	
計	652	100.0	380	100.0	1032	100.0	

#### (5) 心配で眠れないことがある

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	253	38.7	152	39.9	405	39.1	n.s.
ない	401	61.3	229	60.1	630	60.9	
計	654	100.0	381	100.0	1035	100.0	

#### (6) 生きていても仕方がないと思う

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	64	9.8	29	7.6	93	9.0	n.s.
あまりない	144	22.0	75	19.7	219	21.1	
ない	447	68.2	277	72.7	724	69.9	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

## (7)若い時のように幸福だ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	440	68.2	246	65.3	686	67.1	n.s.
いいえ	205	31.8	131	34.7	336	32.9	
計	645	100.0	377	100.0	1022	100.0	

## (8)悲しいことがたくさんある

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	125	19.1	77	20.4	202	19.6	n.s.
いいえ	528	80.9	301	79.6	829	80.4	
計	653	100.0	378	100.0	1031	100.0	

## (9)今の生活に満足している

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	454	69.7	270	71.6	724	70.4	n.s.
いいえ	197	30.3	107	28.4	304	29.6	
計	651	100.0	377	100.0	1028	100.0	

## (10)物事を深刻に考える方だ

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	212	32.6	124	32.6	336	32.6	n.s.
いいえ	439	67.4	256	67.4	695	67.4	
計	651	100.0	380	100.0	1031	100.0	

## (11)心配事があるとすぐオロオロする

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	139	21.3	100	26.3	239	23.2	P<.05
いいえ	513	78.7	280	73.7	793	76.8	
計	652	100.0	380	100.0	1032	100.0	

この質問では、介護者の生活満足度に関して PGC モラールスケール（11 項目モデル）を用いて検討した。その結果、「昨年と同じように元気だ」では、「はい」と回答した割合が、葛飾 62.3%、大館・田代 50.1%で 10 ポイントの差が見られた。同様に「年をとって役に立たなくなった」では、「そう思う」と回答した割合が、葛飾 28.8%に比べて大館・田代が 39.7%と高く、「心配事があるとすぐオロオロする」では「はい」と回答した割合が葛飾に比べて大館・田代で高かった。

## モラール・スケール平均値

表 99 モラール・スケール平均値 (Q14)

葛飾		大館・田代		全体		検定
Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	

7.70 2.78 7.36 2.74 7.57 2.77 n.s.

ポジティブな回答に1点を与えた。得点が高ければポジティブな傾向である。  
 平均値を比較すると、葛飾で7.70点、大館・田代では7.36点で、地域間の差は見られなかった。

## Q51 要介護者の要介護度

表 100 要介護度 (Q15)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
要支援	57	8.8	35	9.3	92	9.0	n.s.
要介護1	158	24.4	110	29.1	268	26.1	
要介護2	146	22.6	88	23.3	234	22.8	
要介護3	113	17.5	64	16.9	177	17.3	
要介護4	77	11.9	46	12.2	123	12.0	
要介護5	96	14.8	35	9.3	131	12.8	
計	647	100.0	378	100.0	1025	100.0	

主介護者に対して、要介護者の介護度をたずねたところ、「要介護1」が最も多く、次いで「要介護2」「要介護3」の順であった。しかし、本調査の結果では要介護3～5の分布割合が両地域の介護度別分布（母集団分布）と比較して高いことから、介護度の高い要介護者を介護している方からの協力割合が高かったということが推測できる。

## Q52 要介護者の視力

表 101 要介護者の視力 (Q16)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
普通に見える	396	60.7	235	62.0	631	61.2	n.s.
細かい字は見えない	167	25.6	101	26.6	268	26.0	
ほとんど見えない	64	9.8	31	8.2	95	9.2	
全く(ほとんど)見えない	25	3.8	12	3.2	37	3.6	
計	652	100.0	379	100.0	1031	100.0	

要介護者の視力についてたずねたところ、「普通に見える」が葛飾、大館・田代ともに6割以上を示していた。地域間の差も見られなかった。

## Q53 要介護者の聴力

表 102 要介護者の聴力 (Q17)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
普通に聞こえる	411	62.7	231	60.8	642	62.0	n.s.
大きい声で話せば聞こえる	168	25.6	109	28.7	277	26.8	
耳で話せば聞こえる	67	10.2	36	9.5	103	10.0	
全く(ほとんど)聞こえない	9	1.4	4	1.1	13	1.3	
計	655	100.0	380	100.0	1035	100.0	

要介護者の聴力についてたずねたところ、「普通に聞こえる」が葛飾 62.7%，大館・田代 60.8%とともに 6 割以上が特別支障なく聞こえる状態であると回答していた。また、「大きい声で話せば聞こえる」「耳で話せば聞こえる」が両地域ともに 35%前後で、地域間の差は見られなかった。

## Q54 麻痺の有無

表 103 麻痺の有無 (Q18)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
なし	651	53.6	222	58.3	573	55.3	n.s.
ある	304	46.4	159	41.7	463	44.7	
計	655	100	381	100.0	1036	100.0	

表 104 麻痺部分 (複数回答)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
左腕マヒ	139	21.2	50	13.1	189	18.2	P<.001
右腕マヒ	99	15.1	57	15.0	156	15.1	n.s.
左脚マヒ	181	27.6	87	22.8	268	25.9	n.s.
右脚マヒ	162	24.7	83	21.8	245	23.6	n.s.
その他	13	2.0	6	1.6	19	1.8	n.s.

要介護者の麻痺についてたずねたところ、「麻痺がある」と回答したのは葛飾 46.4%，大館・田代 41.7%で両地域とも 40%以上の要介護者が何らかの麻痺を抱えていることがわかった。地域間に差は見られなかった。

麻痺部分については該当するものすべてに複数回答してもらった。地域差が見られたのは、「左腕麻痺」についてのみであり、葛飾が 21.2%で大館・田代の 18.2%と比べて高かった。

## Q55 床ずれの有無

表 105 床ずれの有無 (Q19)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
ある	50	7.7	26	6.9	76	7.4	n.s.
ない	600	92.3	349	93.1	949	92.6	
計	650	100.0	375	100.0	1025	100.0	

床ずれの有無についてたずねたところ、全体の92.6%が「ない」と答えていた。地域差も見られなかった。

## Q56 要介護者の疾病

表 106 要介護者の疾病 (複数回答) (Q20)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
脳卒中	200	30.5	129	33.9	329	31.8	n.s.
高血圧	189	28.9	98	25.7	287	27.7	n.s.
糖尿病	118	18.0	46	12.1	164	15.8	P<.01
心臓の病気	146	22.3	71	18.6	217	20.9	n.s.
高コレステロール血症	57	8.7	27	7.1	84	8.1	n.s.
ガン	30	4.6	22	5.8	52	5.0	n.s.
肺気腫	15	2.3	9	2.4	24	2.3	n.s.
気管支ぜんそく	32	4.9	20	5.2	52	5.0	n.s.
胆のう炎	11	1.7	4	1.0	15	1.4	n.s.
胃かいよう	22	3.4	15	3.9	37	3.6	n.s.
腰痛	109	16.6	58	15.2	167	16.1	n.s.
骨折	48	7.3	23	6	71	6.9	n.s.
骨折以外の骨・関節の病気	101	15.4	64	16.8	165	15.9	n.s.
パーキンソン病	47	7.2	13	3.4	60	5.8	P<.01
うつ症状, 不安障害	27	4.1	19	5.0	46	4.4	n.s.
アルツハイマー病などの痴呆症	94	14.4	57	15.0	151	14.6	n.s.
その他	122	18.6	67	17.6	189	18.2	n.s.
現在診断された病気はない	25	3.8	28	7.3	53	5.1	P<.05

医師から診断された病名について該当するものすべてに回答してもらった。

その結果、両地域に共通して「脳卒中」が最も多く、次いで「心臓の病気」「骨折以外の骨・関節の病気」の順であった。地域差が見られたのは「糖尿病」で葛飾18.0%、大館・田代12.1%、「パーキンソン病」で葛飾7.2%、大館・田代3.4%であった。「現在、診断された病気はない」では、大館・田代で7.3%であり、葛飾の3.8%のほぼ2倍を示していた。



## Q57 要介護者の治療状況

### 5) 要介護者の治療状況

表 107 要介護者の治療状況 (Q21)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
往診も通院もしている	52	8.1	16	4.4	68	6.8	P<.001
往診のみしている	149	23.3	20	5.5	169	16.8	
通院のみしている	392	61.3	289	79.2	681	67.8	
往診も通院もしていない	46	7.2	40	11.0	86	8.6	
計	639	100.0	365	100.0	1004	100.0	

医師による治療（往診・通院の両方）状況についてたずねた。

葛飾では往診を受けている割合（「往診と通院」と「往診のみ」の合計）が31.4%であるのに対して、大館・田代では9.9%と低く地域差が見られた。「通院のみしている」割合を比較しても大館・田代では「通院」による治療が中心であることがわかる。「往診も通院もしていない」のは、大館・田代で11.0%であり、葛飾と比較して医療機関との関わり方に違いのあることが推測される。

### 治療頻度

表 108 治療頻度 (Q21-SQ)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
週1回以上	179	30.2	54	16.7	233	25.5	P<.001
2週に1回程度	223	37.7	82	25.4	305	33.3	
月に1回程度	158	26.7	135	41.8	293	32.0	
月に1回未満	32	5.4	52	16.1	84	9.2	
計	592	100.0	323	100.0	915	100.0	

治療の頻度についてたずねたところ、葛飾では「2週に1回」が最も多く37.7%、大館・田代では「月に1回」が最も多く41.8%であった。また、「週1回以上」では、葛飾が30.2%なのに対して、大館・田代では16.7%と低く、「月に1回未満」では、葛飾が5.4%なのに対して、大館・田代は16.1%と高い割合を示していた。

## Q58 過去1年間の入院回数

表 109 平均入院回数 (Q22)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
平均	0.58 回	1.02	0.39 回	0.72	0.51 回	0.93	P<.001

表 110 入院回数の分布 (Q22)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
0 回	412	62.9	271	71.1	683	65.9	n.s.
1 回	162	24.7	84	22.0	246	23.7	
2 回	50	7.6	17	4.5	67	6.5	
3 回	20	3.1	7	1.8	27	2.6	
4 回	6	0.9	1	0.3	7	0.7	
5 回	2	0.3	1	0.3	3	0.3	
6 回	1	0.2			1	0.1	
8 回	1	0.2			1	0.1	
11 回	1	0.2			1	0.1	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

過去1年間の入院回数を平均で見ると、葛飾が0.58回、大館・田代が0.39回で地域間に差が見られた。

## Q59 かかりつけ医師の有無

表 111 かかりつけ医師の有無 (Q23)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
いる	627	95.7	338	88.7	965	93.1	P<.001
いない	28	4.3	43	11.3	71	6.9	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

かかりつけ医師の有無についてたずねたところ、「いる」が葛飾で95.7%と高い割合であったのに対して、大館・田代では88.7%と低く、11.3%の人はかかりつけ医師を持っていなかった。複数の医療基幹を受診しているためにかかりつけ医師を限定することが困難であったことも考えられるが、かかりつけ医師の有無に関しては地域間で差がみられた。

## Q60 歯の手入れ

表 112 歯の手入れ (Q24)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	312	47.6	167	43.8	479	46.2	n.s.
していない	343	52.4	214	56.2	557	53.8	
計	655	100.0	381	100.0	1036	100.0	

歯の治療や歯の手入れについては、「していない」が葛飾 52.4%、大館・田代 56.2%で両地域ともに半数以上が「していない」ことがわかった。この結果の背景には身体的ケアが優先され、口腔ケアまで行き届かない現状があることも考えられる。

## Q61 髪の手入れ・髭剃り

表 113 髪の手入れ・髭剃り (Q25)

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
している	528	80.9	321	84.9	849	82.3	n.s.
していない	125	19.1	57	15.1	182	17.7	
計	653	100.0	378	100.0	1031	100.0	

要介護者の整容について、男性・女性ともに「している」と答えたのは、葛飾 80.9%、大館田代 84.9%で地域間に差は見られなかった。しかし、「していない」では葛飾が 19.1%で、約 2 割近い人が髪の手入れや髭剃りを行っていないことがわかった。

## Q62 栄養状態 (NSI)

表 114 栄養状態項目 (Q26)

(1) 病気で食事が変わった

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	181	27.8	86	22.7	267	25.9	P<.05
いいえ	471	72.2	293	77.3	764	74.1	
計	652	100.0	379	100.0	1031	100.0	

(2) 食事を一食しかしないことがある

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	60	9.2	33	8.7	93	9.0	n.s.
いいえ	593	90.8	345	91.3	938	91.0	
計	653	100.0	378	100.0	1031	100.0	

(3) 野菜や乳製品を食べている

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	560	85.9	336	88.9	896	87.0	n.s.
いいえ	92	14.1	42	11.1	134	13.0	
計	652	100.0	378	100.0	1030	100.0	

(4) お酒を毎日3合以上飲む

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	22	3.4	10	2.6	32	3.1	n.s.
いいえ	631	96.6	369	97.4	1000	96.9	
計	653	100.0	379	100.0	1032	100.0	

(5) 歯・口の具合が悪くて食事しづらい

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	162	24.8	86	22.8	248	24.1	n.s.
いいえ	490	75.2	292	77.2	782	75.9	
計	652	100.0	378	100.0	1030	100.0	

(6) お金が気になって買い控える

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	44	6.7	10	2.6	54	5.2	P<.01
いいえ	609	93.3	368	97.4	977	94.8	
計	653	100.0	378	100.0	1031	100.0	

(7) 一人で食事することが多い

	葛飾		大館・田代		全体		検定
	N	%	N	%	N	%	
はい	205	31.6	107	28.2	312	30.4	n.s.
いいえ	444	68.4	272	71.8	716	69.6	
計	649	100.0	379	100.0	1028	100.0	